

PC 導入に際するマスターイメージ作成作業

クライアント PC リプレースに際して、下記のような問題に直面したことはございませんか。

- 要件変更により、スケジュールが大幅に遅延
- 属人化した作業により、状況確認が困難
上記問題を解決し、スケジュール通り作業を実施した事例をご紹介します。

作業概要

お客様の要望に沿ったマスター PC の設計および構築。その後クライアント PC 50 台に対してイメージ展開および個別設定

作業規模	約 50 台
作業期間	約 25 日間
作業人数	3 人

作業内容

- 要件定義(お客様先での設定に関するヒアリング)
- マスター設計
- マスター PC のセットアップ
- マスター PC の運用テスト
- マスター PC のイメージ CD 作成
- PC 複数台へのイメージ展開作業
- クローン化した PC の個別設定
- クローン化した PC の動作検証
- イメージ CD からのリストア手順書作成
- 報告書作成

納品物一覧

- 各種導入アプリケーションの設定シート
- イメージ展開に関する作業手順書
- 要件定義書および WBS (Work Breakdown Structure) / 作業分解図
- 作業報告書

特記事項

事前準備

- 導入するアプリケーションに対する設定項目の調査
- イメージ作成に使用するハードディスクイメージ作成ソフトの検証

役割分担

- 現地担当者:お客様との打ち合わせや実作業をお客様先で担当
- 社内作業員:現地担当者と共に、イメージ展開作業やドキュメント作成を弊社内で担当
- バックアップ要員:問題発生時に対応できる体制を確保

作業ミスの回避

イメージ展開作業時に設定する項目に対して、チェックシートを作成、作成したチェックシートを基に作業を実施

作業検証と作業手順書を作成

通常撮れないスクリーンショットを手順書に使用するため、仮想化ソフトウェアを使用し擬似環境を構築

作業検証と同時に手順書を作成し、手順の確認を実施